

准看護師課程

Associate Nurse



沿革

本校は、はじめ八代市医師会立の准看護婦養成校として昭和29年に発足し、多数の准看護師を送り出してきました。また、平成6年、新たに「看護婦2年課程」(平成14年3月「看護師2年課程」、「准看護師課程」と改称)も併設。これにより、准看護師から看護師までの一貫教育が可能となりました。



授業風景

授業では専門的なことを習うので大変なこともあります。医師会会員の医師、臨地実習先のスタッフ、専任教員など、親切に対応して下さるので安心して学ぶことができます。演習では、グループで協力して取り組むことができますので看護技術も楽しく身につけることができます。



立志式

1年時の立志式では、自分の看護に対する意思を発表し、准看護師になるという決意を胸に頑張っていくことを誓います。その後2年生との交流では実習や学習方法などの情報交換ができ、有意義な時間をすごすことができます。



Messages

在校生より

私は高校の時、介護士の資格をとりました。そのまま介護施設に就職しようとも思いましたが、母の勧めで看護師という仕事に興味を持ちました。介護士の資格だけでは対応に限りがあると聞き、看護師の資格を持っていれば、介護の現場でも強く強みになると思いました。

今はまだ看護の専門的な知識や技術を勉強し始めたばかりですが、看護の勉強はとても興味深いと感じています。これからテストや実習などという大変だとは思いますが一生懸命頑張って准看護師の資格を取得したいと思います。

卒業生より

高校生の時に自分の進路を考え、将来は医療従事者になりたいと思いました。そのなかでも働きながら(医療現場の経験を積みながら)看護師資格がとれる八代看護学校に魅力を感じ、准看護師課程へ入学することを決めました。実際に入学してみて、初めての慣れない仕事と勉強の両立はとても大変でしたが、家族の協力や応援、同じ夢を持つクラスメイトと励まし・支え合いながら実習や様々なテストを乗り越え、無事、准看護師になることができました。

医療機関で仕事をしつつ、日々看護の勉強をする中で、看護についてより深く学びたいと思い、看護師2年課程へ進学することを決めました。

准看護師課程より難しい内容ではありますが、優しい先生方に指導していただき、クラスメイトと切磋琢磨して、たくさんの人や地域を支える看護師になれるよう頑張ります。

